

# 小児科専門研修プログラム

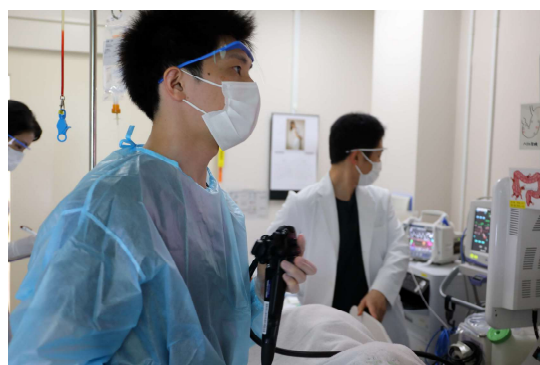
## 診療科の特色

小児科は、0歳から若年成人までのすべての病気を診療する「子どものための総合診療科」です。信州大学小児科では、**免疫・アレルギー、神経・発達、血液・腫瘍、循環器、腎、内分泌・代謝、消化器、新生児**の8診療グループが高い専門性と強力なチームワークをもって、長野県全域から紹介される**重症・希少・難治性疾患**の診療に当たっています。



## 専門研修の魅力

専門研修においては、**重症・希少・難治性疾患**患者の診療を通じて、小児に対する**基本的診断・治療技術**の習得とともに、**子ども・親・医療スタッフとのコミュニケーション力**の向上に力を入れています。



研修期間: 卒後3年目(専攻医1年目)から卒後5年目(専攻医3年目)

### プログラム構成病院の概要

信州大学(基幹研修施設)の専攻医研修プログラムには、**9の研修連携施設**(長野県立こども病院、北信総合病院、長野赤十字病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、信州上田医療センター、まつもと医療センター、諏訪赤十字病院、伊那中央病院、飯田市立病院)と**13の研修関連施設**(浅間総合病院、安曇野赤十字病院、岡谷市民病院、県立木曽病院、長野県立信州医療センター、佐久医療センター、長野松代総合病院、浅間南麓こもろ医療センター、市立大町総合病院、長野市民病院、松本市立病院、信濃医療福祉センター、稲荷山医療福祉センター)が参加しています。

上記24の施設には約90名(信州大学20名、連携施設43名、関連施設27名)の指導医が常勤し、専攻医の指導にあたっています。

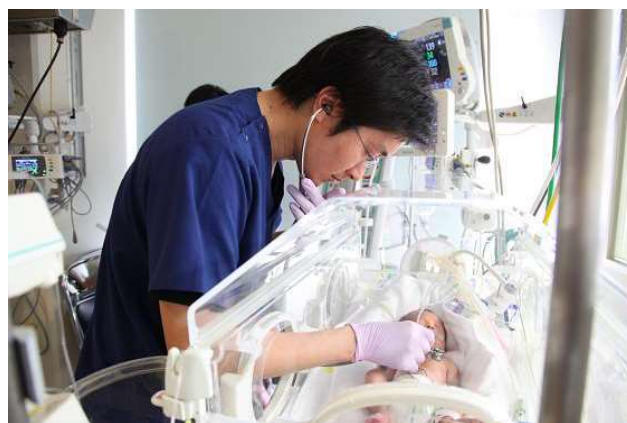
### 研修予定

卒後3年目(専攻医1年目): 信州大学、研修連携施設  
基本知識・技術の習得、高度医療、三次救急医療

卒後4年目(専攻医2年目): 研修連携施設  
基本疾患の経験、一般小児医療、一次・二次救急医療

卒後5年目(専攻医3年目): 研修連携施設、研修関連施設  
基本疾患の経験、一般小児医療、一次・二次救急医療

卒後6年目: 信州大学、研修連携施設、研修関連施設  
小児科専門医取得



## サブスペシャリティー・学位取得の道筋

小児科専門医取得後(卒後6年目以降)、当科単独または当院成人診療科や長野県立こども病院との連携により、多種・多様なサブスペシャリティー専門医・認定医が取得できます。

当教室員が取得した専門医・認定医

(小児科領域)

小児神経専門医

小児循環器専門医、

小児精神・神経学会認定医

小児血液・がん専門医

周産期(新生児)専門医

小児栄養消化器肝臓認定医

(共通領域)

血液専門医

消化器病専門医

胃腸科専門医

腎臓病専門医

救急科専門医

リウマチ専門医

輸血認定医

がん治療認定医

ヘリコバクター感染症認定医

アレルギー専門医

消化器内視鏡専門医

内分泌専門医

てんかん専門医

集中治療専門医

造血細胞移植認定医

カプセル内視鏡認定医

旅行医学会認定医

## 大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

専攻医研修修了後、**社会人大学院**に進学し、当科または長野県立こども病院での臨床と並行しながら、**医学博士**を取得することが可能です。

(大学院での主な研究テーマ)

難治性小児がんに対する遺伝子改変T細胞療法の開発

造血幹細胞移植におけるカルシニューリン阻害薬の血中濃度に影響を与える因子の解析

全身放射線照射をベースとしたreduced-toxicity myeloablative conditioningの開発

がん指向性リポソームを用いた新規遺伝子治療法の開発

難治性腎疾患における間葉系幹細胞を利用した新規治療法の研究開発

放射線腎症に対するトロンボモジュリンによる治療および予防効果の検討

アンジオテンシンII受容体/ $\beta$ アレスチン経路の腎形成における制御機構の解明

造血幹細胞移植における腎機能評価法の検討

シリアスゲームによる多職種連携の促進

熱性けいれん発症因子の解明

急性脳症の早期診断に向けたバイオマーカーの検討

稀少てんかんの診療指針と包括医療の研究

マウスを用いた血中・脳細胞内のPLP/PL比とGABA濃度の研究

小児炎症性腸疾患におけるステロイド治療有効性の予測因子の研究

## 国内留学・海外留学

### 国内留学

国立成育医療研究センター、都立小児総合医療センター

### 海外留学

ベイラー医科大学(定期派遣)、ハーバード大学、ジョンズ・ホプキンス大学、トロント大学、マギル大学、ノースカロライナ大学

## 将来の就職先など

信州大学小児科(教官)、信州大学基礎医学講座・保健学科(教官)、長野県立こども病院(常勤・非常勤医)、関連病院(部長、科長、常勤・非常勤医、専門外来のみなど)

開業、血液センター、保健所など

(主な就職先)

<北信> 飯山赤十字病院、北信総合病院、新生病院、長野県立信州医療センター、東長野病院、長野市民病院、長野赤十字病院、新町病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、長野松代総合病院、稲荷山医療福祉センター

<東信> 信州上田医療センター、浅間南麓こもろ医療センター、浅間総合病院、佐久医療センター

<中信> 市立大町総合病院、北アルプス医療センター あづみ病院、安曇野赤十字病院、信州大学、長野県立こども病院、まつもと医療センター、松本市立病院、丸の内病院、城西病院、松本赤十字血液センター、松本歯科大学病院、県立木曽病院、

<南信> 岡谷市民病院、辰野総合病院、諏訪赤十字病院、信濃医療福祉センター、富士見高原病院、伊那中央病院、県立こころの医療センター駒ヶ根、昭和伊南病院、下伊那赤十字病院、飯田市立病院、県立阿南病院

<県外> 市立甲府病院、他大学小児科

## 連絡先

信州大学医学部 小児医学教室

■住所: 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-37-2642 ■FAX: 0263-37-3089

■E-mail: child@shinshu-u.ac.jp

■URL: <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/i-shoni/>

■専門研修プログラムの詳細は、信州大学医学部附属病院HP 卒後臨床研修センター → 専門研修 [小児科]